

## 浸水被害低減効果一覧

令和7年5月2日 大雨警報（浸水害）・洪水警報

下水道施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m³)	貯留量 (m³)	貯留率 (%)
① 新羽末広幹線	港北、鶴見	ポンプ排水	410,000	25,664	6%
② 小机千若雨水幹線	緑、神奈川	ポンプ排水	256,000	72,200	28%
③ 新羽調整池	港北	ポンプ排水	89,000	14,000	16%
⑥ 蒔田雨水調整池	南		22,000	820	4%
⑦ 江川雨水調整池	都筑		17,000	5,210	31%
⑧ たちばなの丘雨水調整池	旭		7,000	1,970	28%
⑨ 金井雨水調整池	栄		6,000	2,880	48%
⑩ 長津田地区東雨水調整池	緑		54,000	13,380	25%
⑪ 長津田地区西雨水調整池	緑		19,000	1,860	10%
⑫ 相沢雨水調整池	瀬谷		56,000	9,400	17%
⑬ 北綱島第二雨水幹線	港北		72,000	7,180	10%
⑭ 獅子ヶ谷雨水幹線	鶴見		6,500	30	0%
⑮ 戸部雨水幹線	西		11,000	800	7%
⑯ 初音雨水幹線	南		7,500	660	9%
⑰ 初音雨水支線	南		2,700	170	6%
⑲ 下倉田第二幹線	戸塚		8,200	2,062	25%
⑳ 東希望ヶ丘雨水幹線	旭		40,000	260	1%
㉑ 南希望ヶ丘雨水幹線	旭		8,000	80	1%
㉒ 二俣川1号雨水幹線	旭		13,000	60	0.5%
合 計			1,104,900	158,686	—

河川施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m³)	貯留量 (m³)	貯留率 (%)
① 鳥山川遊水地	神奈川	ポンプ排水	44,000	372	1%
④ 舞岡川遊水地	戸塚	ポンプ排水	55,200	2,065	4%
合 計			99,200	2,437	—
総 計			1,204,100	161,123	—

25mプールで換算： **430** 杯分を貯留

※25mプール容量イメージ：幅15m×深さ1m×長さ25m=375m³

- ポンプ排水方式の下水道施設については、最下流のポンプ施設による吐出量を集計した値を記載しています。  
また、ポンプ排水を行なながら貯留しているため、貯留容量を超える値になる場合があります。  
ポンプ排水方式の河川施設については、対象期間内に排水作業を実施し、複数回貯留した場合は、行を分けて記載します。
- その他の排水方式については、ピーク水位の計測結果から算出した貯留量を記載しています。  
※上記1、2の算出方法による値のため、浸水被害低減量は参考値です。
- 貯留実績があった施設のみ貯留量を記載しています。